

まちを守る。人を守る

消防団活動への理解と協力、参加を

いつ起こるか分からない災害

こんな事態が起きてしまつたら――。

災害や火災が起こった時、すぐ現場に駆けつけて、消防員と一緒に救助や消火にあたるのが消防団です。昨年は町内で11件の火災が発生し、延700人の団員が出動しました。ふだんはそれぞれの仕事を持っている地域住民です。その住民の一人として、まちを守る一員として皆さんの消防団活動への理解と参加をお願いします。



町消防団は、分団数9、部数31で構成されています。

団員数437人。保有している車輛はポンプ車4台、小型ポンプ付積載車27台。



八日市場市外三町消防組合の職員は101人。交替制勤務でみんなの安全を守ります。保有している車輛は消防車8台、救急車4台。

八日市場市、光町、野栄町、横芝町で構成されています。

被害を最少限に

「こちらは防災ひかりです。消防署から火災発生のお知らせをします」。町中に流れると消防団の戦いが始まります。

団員の職業はまちまちでもいつも体制がとれている訳ではなく、人員が必ずいるとも限りません。それでも消防団員は出動し、「一秒でも早く」消火活動を行います。119番通報で出動した消防署と共同で消火活動を行い、被害を最少限に食い止めます。

地域に奉仕

町の消防機関として消防署、消防団があります。

消防署は第一線の活動部隊として、火災や人命の救助・救命を職業とする組織です。

一方、消防団は仕事を持ちながら消火活動や日頃から防災啓発活動を行っています。また台風の時はその土の復旧作業を行うなど地域奉仕的な団体です。

消防団に参加を

地域に欠かせない消防団ですが、ここ数年団員の確保が難しくなっています。

これは都市化、サラリーマン化による連帯意識の低下や、若年層の減少などが原因と思われます。

わたしたちのまちを守る消防団の一員としてあなたの参加をお願いします。

町内で初めて 新井地区に『消防留守部隊』発足



放水の操作方法を練習する隊員

新井区で1月26日、日中地元で仕事をしている方を中心に、「消防留守部隊」が発足しました。これは消防団員の大半が会社員などで日中不在となるため、主に日中の火災発生などの緊急時に対処できるように任意隊員27人（隊長郡司勝夫さん）により発足したもので、町内では初めての組織です。この日、栗山川堤防で、消防団員の指導を受けポンプの操作を熱心に練習しました。

消防団の歴史

江戸幕府將軍吉宗の時代に、町奉行の大岡越前守が江戸につくったといわれる町人組織「町火消」が、消防団の始まりです。

